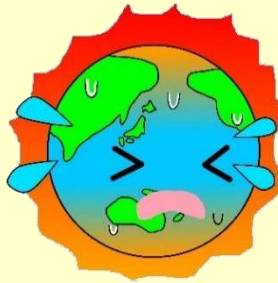


# 地球の危機と謎解き



この本は、地球の平和のために星（ソラ、宇宙）から伝えられたことを“星述ベ”が記録した情報の本です。

この情報を受け入れる有志による“NPO 地球の平和のための謎とき会”が発行しました。

# 目次

1	今地球で起きていること	2P
2	友達物語	3P～5P
3	宇宙のはじまりと原子のはじまり	6P～8P
4	原子にも“思い”がある	9P
5	太陽系の惑星物語	10P～12P
6	山や丘になったイシカミたち	13P
7	地球の誕生物語	14P～15P
8	イシカミの原子から生命が発生した	16P～17P
9	ツチジン（ツチ人）・イシジン（イシ人）	18P
10	古墳やストーンサークルになったイシカミたち	19P
11	ツチジンから人間へ	20P～21P
12	カッパドキア	22P
13	いろいろなツチジン	23P
14	石柱物語	24P～25P
15	イシジンから人間へ	26P～28P
16	いろいろなイシジン	29P
17	お汁とツボのお話	30P～32P
18	アトランティス物語	33P～35P
19	ピラミッド物語	36P
20	万里の長城物語	37P
21	水源物語	38P～39P
22	石の円筒遺跡	40P
23	潜在意識と顕在意識の意味	41P
24	細胞の“思い”	42P
25	ぼくらの世界は原子でできている	43P～44P
26	謎を解く鍵	45P
27	最後に	46P

# 今地球で起きていること

## 【地球温暖化】

ソラから降りてきた水は海水となり、それに多量の洗剤の油が混じり、それが太陽で燃やされて水の一部が分解して蒸発します。

太陽の熱で燃やされる油=洗剤が多くなって、それがどんどんひどくなって、海水の温度が高くなり、蒸発してソラに上がっていく水の分子たちが増量していきます。

これが地球温暖化の現象であり、二酸化炭素が増えているというわけではありません。

ソラに上がる水の分子が多くなり、それが冷やされて雨や雪が多くなっていき、異常な洪水や豪雪になっていくことを知らせています。

昔は石鹼だけだったので、水に混じるのはごくわずかでしたが、石油などの油で洗剤が多量に売り出されて、特に長髪の流行でシャンプーの使い過ぎや手洗いの奨励で強迫的な潔癖症が増え、洗剤の使い過ぎなども問題です。



## 【世界の分断】

パレスチナの紛争は宗教の違いにより、これまでにない悲惨な状況になっています。それらを解決するには、宗教が起きる以前のことに眼を向けなければ決して解決できないということをソラから知らされました。大昔パレスチナ人とユダヤ人は同じ民族でしたが、長年にわたり商売の好きな外向性のユダヤ人は各地に出かけたのに対して、地元にとどまって農業をした人たちがパレスチナ人になったということです。

今のように分断になった理由の一つがイスラム教の「眼には眼を、歯には歯を」ですが、それは眼とは見たモノ、歯とは食べるモノをあらわし、頂いた品物をお返すという意味で、地球の富を独占しないようにという教えだと伝えられました。

大昔の予言者が語ったことを権力者は都合の良いように解釈し人々を支配していますが、それらの言葉を今一度よく考えなおすように宇宙（ソラ）から知らされています。



# 友達物語（1）

パレスチナとイスラエルが宗教の違いで争いになっているように、  
世界中の争いは、主に宗教が原因となっています。  
この物語はこれまで地球を見守ってきた宇宙（ソラ）から知らされた情報です。

パレスチナ人とユダヤ人は同じ先祖だったということで  
争いをやめるようにと知らせてくれたのですが、  
ごく一部の人を除いて決して認めなく益々争いがひどくなってきました。

それで、この情報が正しいという証拠として、  
宇宙（ソラ）がこれまで謎とされてきた遺跡や遺物に対して、  
その答えを知らせてくれたのです。

大昔、今のイスラエルの場所に住んでいた人達は、仲良く暮らしていました。  
その中に、毎日平凡に暮らすのが好きな人達（のちのパレスチナ人）と  
国の外に出て、貿易をしてみたいと思う積極的な人達、ユ一族（のちのユダヤ人、  
【ユ=あなた】と仲良くしたいという意味）がいました。  
平凡に暮らすのが好きな人達は、この場所で農業をしていきたいと土地に残りました。  
ユ一族の人達は、貿易で塩などを売るため（シオニスト）、エジプトへ行くことにしました。

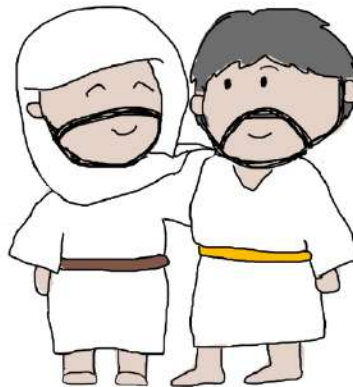
## のちのパレスチナ人



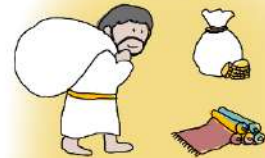
ここで農業をしていく



なかよし!



## ユ一族（のちのユダヤ人）



積極的で  
商売や外国に行くのが好き



当時は、今の地中海がある辺りが大平原で、川が流れていました。  
その川を船で通り、エジプトへ行くことができたのです。

# 友達物語（2）

## のちのパレスチナ人



気を付けて  
しっかり留守を  
守っているからね

パレス=モスク=宮殿を守る  
チナ=血を流さない人

### 【太陽の船】

エジプトのギザのピラミッドの  
傍で発掘された世界最古の  
大型木造船で、実際水の中で  
使用された跡が残っています。

この船は、この物語の証拠になるものです。  
船の形は、底が浅く、舳先はとても長く、航海に  
使うには、難しいと思われる形ですが、海ではなく、  
川だったので、使うことができたのです。



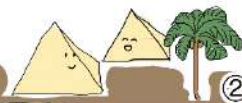
## ユー族(のちのユダヤ人)



行ってきます



ユー族の人達は、外交的で  
塩の商売をしていました。  
ユダヤ人が大切にしている  
言葉の【タルムード】は、  
ユー族(ユダヤ人)が  
祖国に残ったパレスチナ人に  
「留守にするけれど、国を  
しっかり守ってくれよ。【タノムヨ】」  
(タノムドー)という言葉が、  
後のユダヤ人の一部の  
権力者によって曲解されて  
伝えられたことなのです。



商売をするために  
エジプトに商売に行ったユー族でしたが…

大きな巨人のエジプトのイシジンに  
奴隷にされてしまいました。

帰りたい



③

## 友達物語（3）

その後、悲惨な奴隷生活が嫌になった  
ユー族は、エジプトを脱出しました。  
追手が迫ったとき、ユー族を率いていたモーセが  
紅海の水を二つに分ける奇跡を起こして、人々は  
逃げる事ができ、その後40年荒野を彷徨い、  
カナン（今のイスラエル）に辿り着きました。  
（モーセ自身は、カナンを前に亡くなりました）

まてー！



もういやだ



出エジプト

また、後の時代のイエスは、少しのパンと魚を  
多くの人に分けることができた、湖上を歩いたなどの  
奇跡を起こしたと言われていますが、当時の  
ユー族の人々やイエスも、人間ではなくイシジンで、  
イシカミの原子と会話することができ、奇跡を  
起こせたのです。原子に語り掛けることで、  
水や食べ物（マナ）を得ることもできたのです。  
（イシジン、イシカミは後述）

④

はじめに土地を去らずに残った  
平凡に暮らすのが好きな人達は、後に  
イスラム教を取り入れ、生活の基盤としていました。  
彼らは今パレスチナ人と呼ばれています。  
ユダヤ人とパレスチナ人は、  
異なる宗教を持っていますが、元々同じ国で  
生まれ、仲の良い友達だったのです。  
現代では、いわば兄弟同士で争っているのです。



⑤

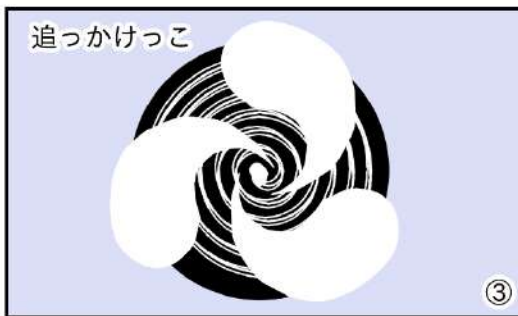
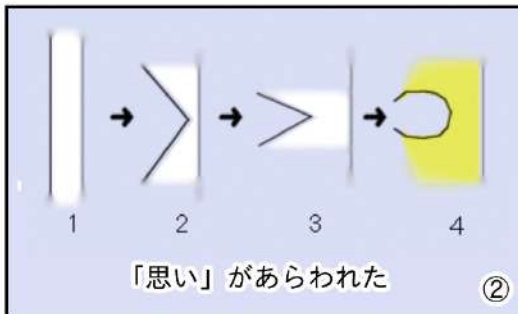
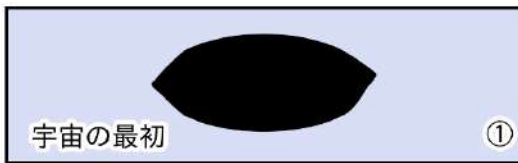


エルサレム 岩のドーム



エルサレム 嘆きの壁

# 宇宙のはじまりと原子のはじまり（1）



- ① 宇宙の最初は真っ暗闇でした。そして最初に発生したものは何？という“思い”でした。
- ② 何？という“思い”を持ったモノが、【宇宙のおおもと大元】でした。大元は一人ぼっちで寂しくて、誰かいないかと思いました。その“思い”は何かを掴もうとする、カスタネットのような動きをしました。
- ③ 捕まえようという“思い”を持ったのが【宇宙のおおもと大元】で、捕まれまいとするのが弟でした。兄が弟を追いかけることで渦巻きとなりました。



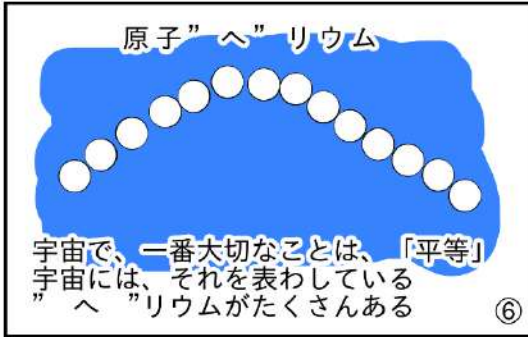
宇宙の大元を表す花



- ④ その中心がギュッと圧縮され、耐えきれなくなってパンと爆発して、光とともに原子が生まれました。このことがビッグバンと呼ばれています。
- ⑤ 原子は原子核の周りを電子が回っていますが、その理由は回っていないと真っ暗闇に戻り、原子が生まれなくて物質になれないからです。

たんぼの黄色い花は爆発した光を表し、白い種はその後に見られた原子を表す

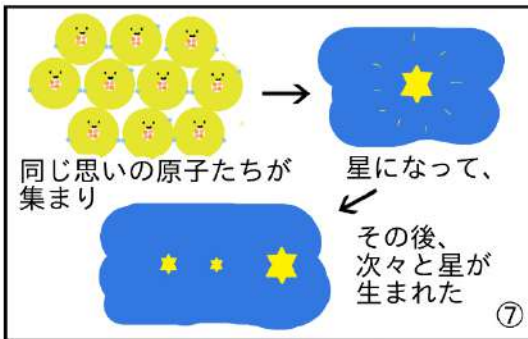
# 宇宙のはじまりと原子のはじまり（2）



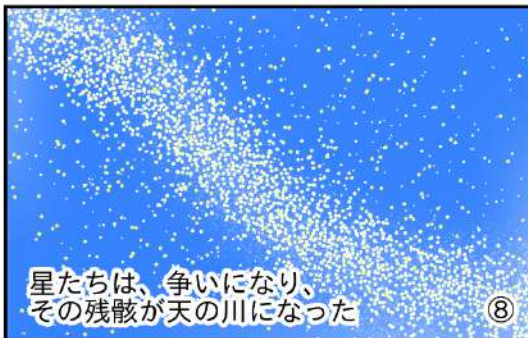
⑥宇宙は「平等が一番大切」ということで、平らな“ヘ”の形に並ぶことで“ヘリウム”ができました。



イタリア ローマ パンテオンの天井  
○が並んでいます。あちこちで見られるこの丸は、原子をあらわし、並んでいます。



⑦同じ“思い”を持つそのヘリウムが並ぶことで、星が次々とでき、キチンと並んでいましたが、並ぶことが嫌な星たちもあらわれました。



⑧並ぶことが大切というオリオンたちと、並ぶのが嫌だという星たちの間で、争いが起き、その星の残骸が天の川になりました。



並んでいるオリオンたち



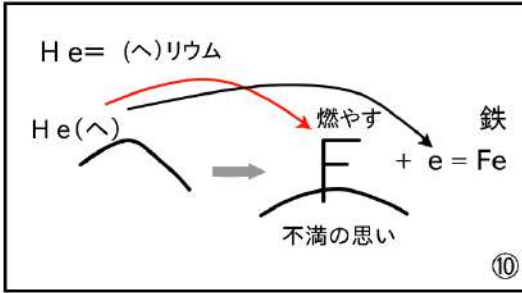
⑨天の川の中に“いて座”がいます。  
いて座は宇宙で最初のいわば長男長女にあたる星でした。最後に生まれた星の地球を、いて座が地球を希望の星にしたいと言いました。そしていて座から地球にきた意識体が、山や丘、石にもなりました。

宇宙で一番大切なことは「平等」です。

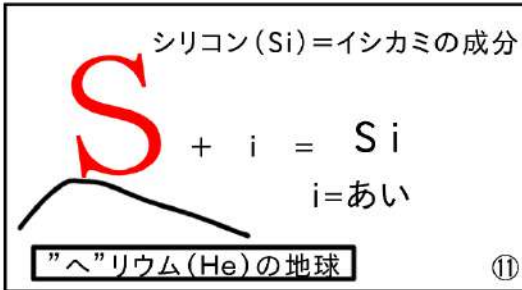
それを壊しているのが 王制、皇室制、カースト制 などです。

宇宙の大原則が「人間 皆 平等」なのです。

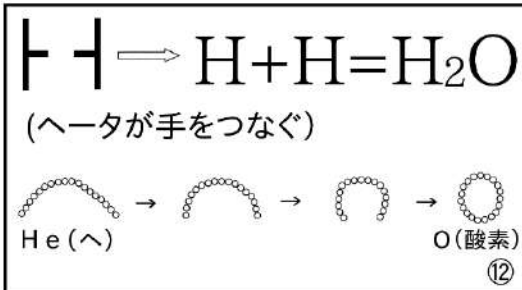
# 宇宙のはじまりと原子のはじまり (3)



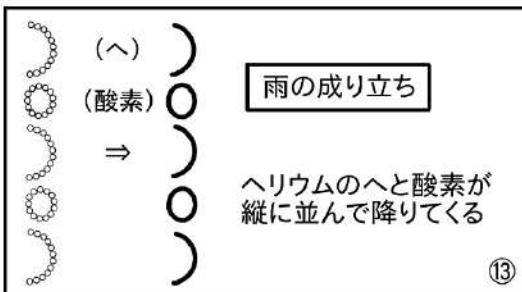
⑩それから星になりたいとドンドン増えて行き、ジーンとしているのが嫌だと、ヘリウムから飛び出そうとして、スモール e と一緒になったのが Fe (鉄) です。その不満の“思い”が宇宙中に満ち溢れたので、不満の“思い”を燃やすと、燃えたぎった鉄の塊となり、それが、ふらふらと浮遊をする地球の元でした。



⑪浮遊する真っ赤な高温の地球を宇宙の希望の星にしようとの計画で、シリウスの勇気あるモノが真っ赤に焼けた地球に飛び込もうとしましたが、やめようかと思う気持ちもあらわれ、S の形となりました。その勇気をスモール i が好きになり、Si = シリコンが生まれ、地球を固めることができました。



⑫けれども高温なので、冷やしてあげたいと思う原子が集まり水星となり、水星から地球に降りようとしたものは、一人で降りるのは、勇気がいるので、まず手をつないで H (水素) の原子に、ヘリウムは手をつなぎ O (酸素) となり、H<sub>2</sub>O (水) で、地球を冷やしました。また、海の中では、ヘリウムの“へ”がイシカミの狭い所 (ストロマトライト) をくぐり抜けることで丸くなり O ができたと知らされています。



⑬“へ”と“O”が、出来るだけたくさん地球に急いで降りて、地球を冷やしてあげようと、縦に並んで降りてきたものが雨になりました。反対のこととしては、水が蒸発して H と O になり、宇宙 (ソラ) に上がります。



⑭原子も電子も並ぶことが大切と早くから知らせていました。

# 原子にも“思い”がある

原子は、“思い”から始まったので、“思い”を持っているそうです。原子は身の回りに満ち溢れていますが、原子でできている宇宙の無数の星も全て“思い”、意識を持っているそうです。

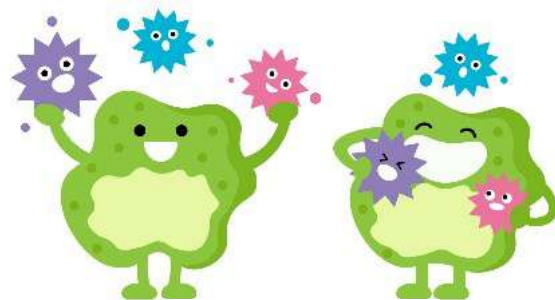
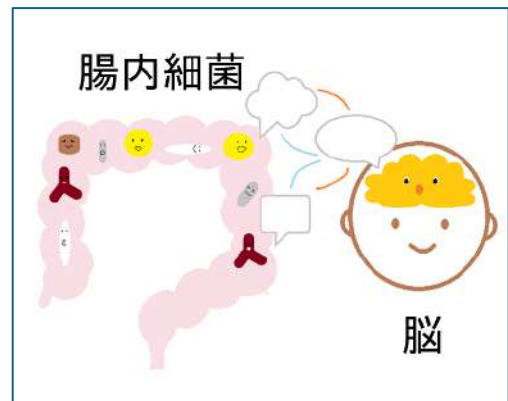
現在、量子力学では、原子より小さな素粒子のゆらぎやもつれなどの不思議な振る舞いが確認されており、素粒子も“思い”を持っていることを感じさせます。

また、動物や植物の不思議な行動がわかってきており、それらからも、原子の“思い”の存在を計り知ることができるのではないのでしょうか。例えば、植物が会話をしていることや、キノコが言語を持っているということが実験で証明されており、粘菌迷路という実験では、単細胞生物である粘菌が迷路の入口と出口に置かれた餌をつなぐ最も効率の良いルートを導き出すことがわかっています。

私達の体内では、アメーバ状の細胞のマクロファージは体内に侵入した異物を捕食して消化する働きをしてくれていますし、腸と脳は互いに影響し合っていることがわかっていますが、それには腸内細菌が大きく関わっていると言われています。

これらは、脳がない植物や極めて小さな細胞が“思い”を持って自ら考え行動していることを示していて、更にそれらを構成する原子達も“思い”を持っていることを感じさせます。

原子には“思い”がある、ということによって、地球上の謎は全て解けていくのです。



マクロファージ

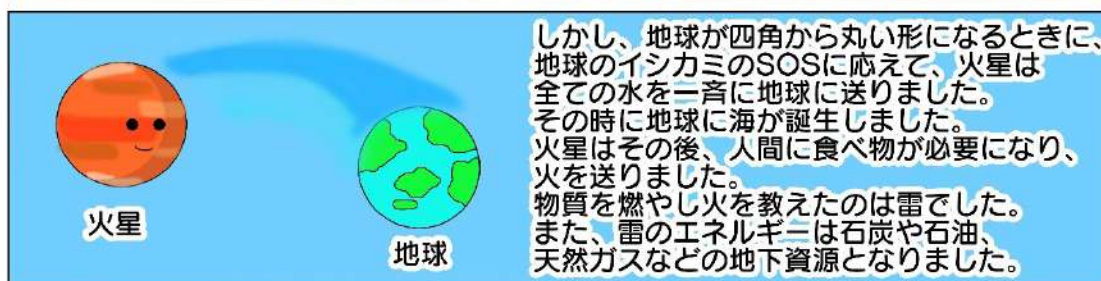
# 太陽系の惑星物語（1）



## 太陽系の惑星物語（2）



## 太陽系の惑星物語（3）

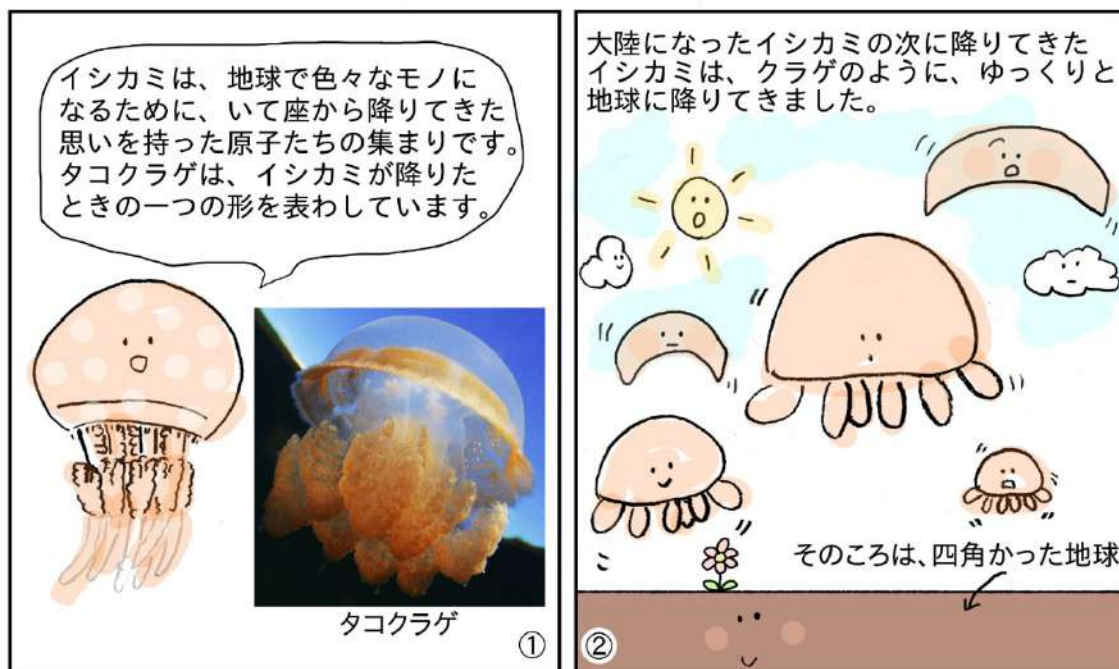


### 【動物があらわす意味】

- ・ **ゾウ**の長い鼻は地球の引力を、大きな耳は地球の周りを吹く偏西風を表し、石の様な白い牙はボートを漕ぐオールで地球が回っていることを表しています。
- ・ **キリン**は月と地球の関係を表し、頭が月を、大きな胴体が地球を、たてがみは小惑星帯を表しています。長い首は地球と月の間に見えない通路があることと、ヘビ座も関係したことを表しています。身体の点々は星たちが相談してキリンを創ったことを表しています。
- ・ **カメ**はイシカミや地球を表していて、甲羅の模様は地球が悪者の星に支配され、網で捕まえられていることを表しています。
- ・ **ウサギ**の目が赤いのは、地球が悪者の星に支配されて悲惨な状態になったのを見て、泣いていることを表し、耳が長いのは地上の出来事をよく聞いてソラに報告することを表しています。

# 山や丘になったイシカミたち

最初にて座から地球に来たイシカミは、薄く延びて地球を包み込みました。地球が水の惑星になった後に降りてきたイシカミは、地球を希望の星にしようと大きな塊が、まず大陸になりました。次に小さな塊のイシカミが、タコクラゲやバナナのような色々な形で降りてきて、のちに山や丘などになりました。



地球に降りてきたときのイシカミの体は、柔らかくておもちのようでしたが、しだいに固まっていき、山や丘、島、岩、肥沃な土になったモノもありました。それぞれの思いがあり、降りてきたそのままの形をあらわす形になったのがオーストラリアのウルル(エアーズロック)ですが、団体で降りてきたものは連山、重なって降りてきたものは高い山、平等をあらわすためにテーブルマウンテンのような平らな山になったものもありました。



オーストラリア ウルル (エアーズロック)



東京都 八丈小島

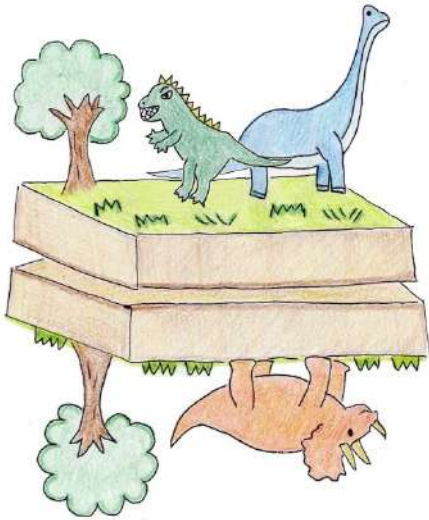


和歌山県 橋杭岩



北海道のなだらかな山 ③

# 地球の誕生物語（1）



①

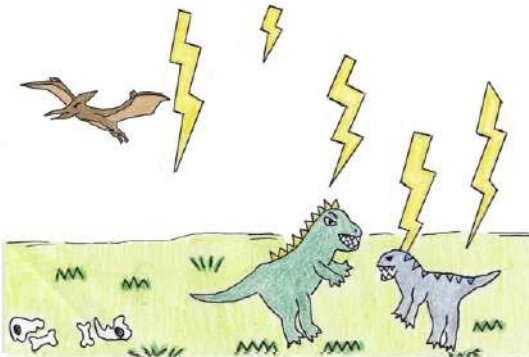
①最初の地球はオバレ石のように2枚の板を合わせたような形で、どこまでも平らでした。この時の地球は重力がとても弱かったので大型の生物がたくさん住んでいました。



三重県御在所岳  
右は倒れたオバレ石

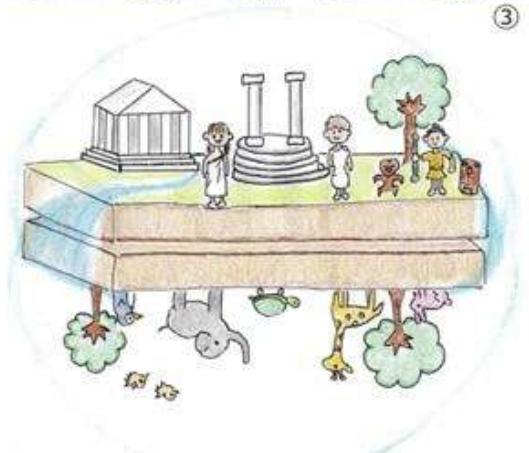
②

②しかし大型の生物は次第に争ってばかりのものが多くなり、宇宙の大元は分身であるホシノミナに地球を掃除するように頼みました。ホシノミナはたくさんの稲妻で恐竜を絶滅させました。



③恐竜が絶滅した後、それまでより小さく家族を大切に動物や人間が造られました。天動説の時代には、地球の果てに行くと落下すると信じられていましたが、それは本当でした。

③



水は地球の端で流れ落ち、エンジェル・フォールのように途中で霧になり、再び空に上がって雨になりました。

地球全体に霧の膜があり、北も南も平等に暖かく皆が平和に暮らしていました。

土偶や埴輪などは歩くことなく少し浮遊して移動ができました。



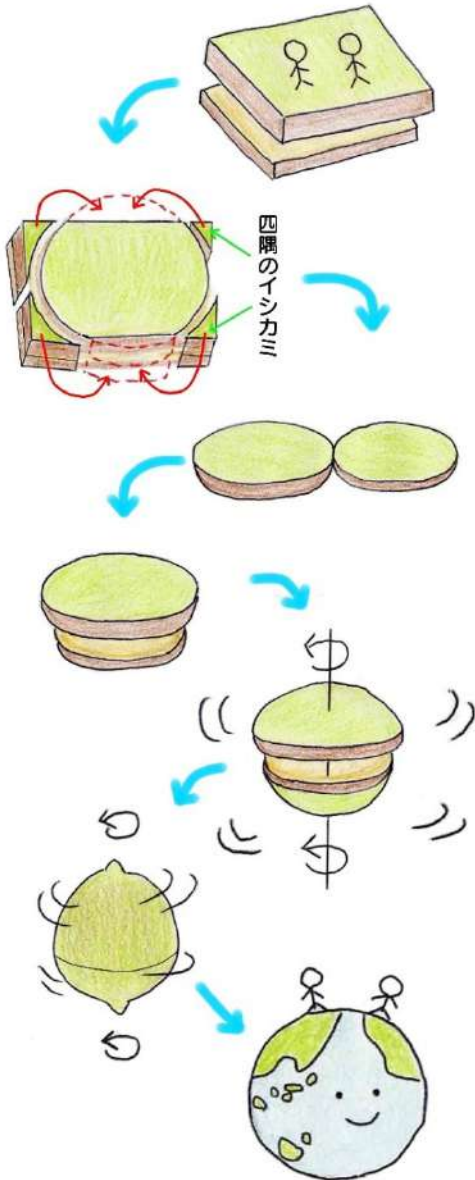
ギアナ高地 エンジェルフォール

## 地球の誕生物語（2）

平らな地球は、宇宙から形になりたいと思う原子たちを受け入れやすい形でしたが、悪い思いを持った原子たちがあまりにも多く降りてくるようになったので、地球は丸くなって自転をして振り払おうと思いました。

2枚の板のような地球は丸くなるために四隅の部分のイシカミが分解して原子に戻りました。その原子たちの一部は丸い地球になる部分に変化し、残りは小さな惑星となって地球の周りを囲う小惑星帯になりました。

2つの平らな地球は、パンが膨らむように少しずつ膨らんでいきました。そして串を中心に“ブンブゴマ”のように回って丸い地球になりました。



アイルランド タラの丘と石棒



シチリア島陶器



オーストラリア  
マールロック

地球が丸くなると水の膜が無くなり、北極や南極が氷に閉ざされ、地球上に人間は快適に住むことができなくなりました。

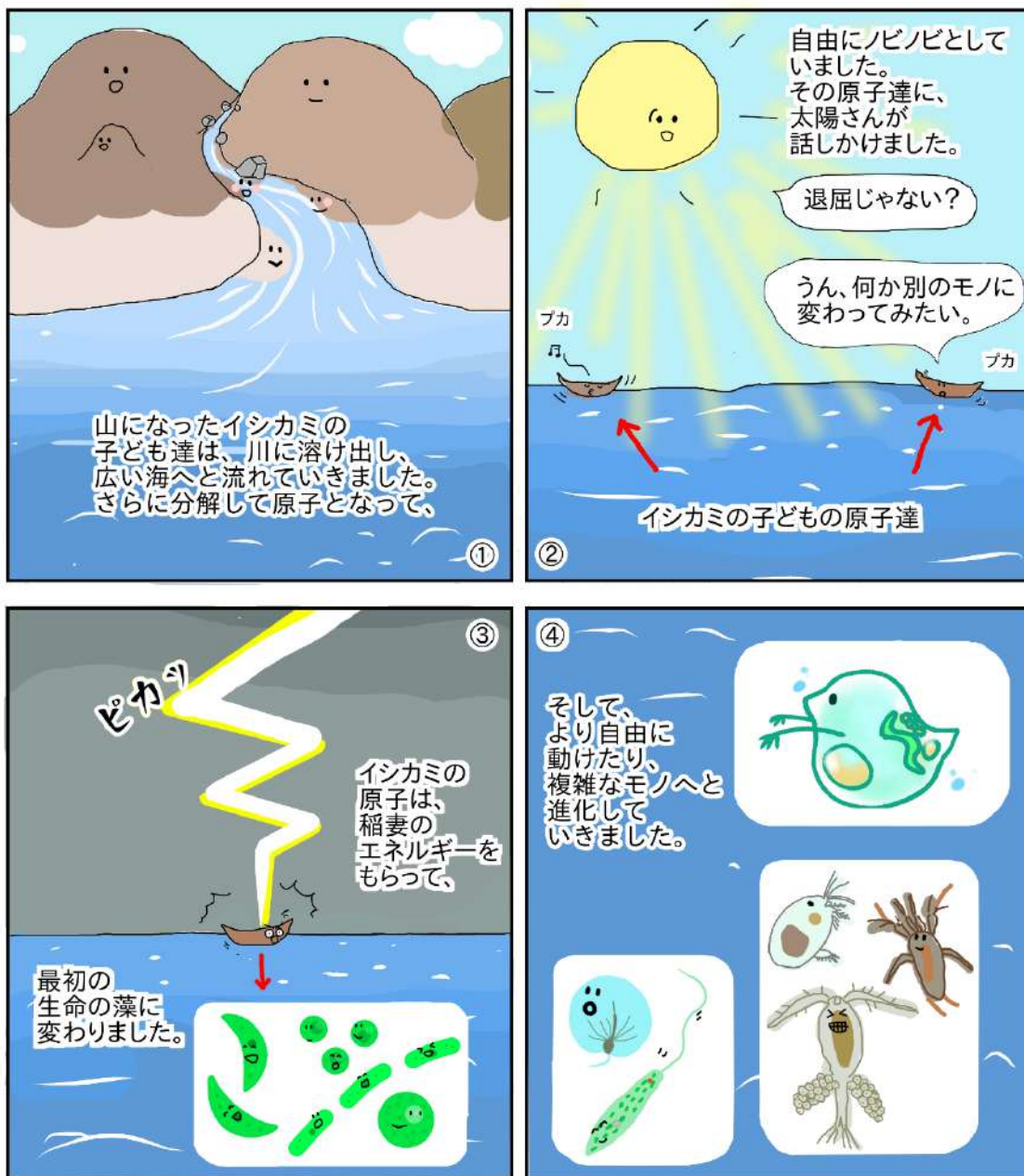
そして人間たちが平等ではなくなり、争いが絶えなくなりました。現在もあまりにも悲惨な戦争が続いているので、地球は“平らな地球に戻りたい”と泣いています。

# イシカミの原子から生命が発生した（１）

“思い”を持ったイシカミの原子達は、同じ目的を持った原子同士が結合して色々な山や岩になりましたが、その山や岩になったものが分解したイシカミの子ども達（シリコン）から最初の生命が発生しました。

地球上には多種多様な生物がいます。それらは自然に突然変異で進化していったのではなく、シリコンの原子達と星達が形や色、どのような機能が出来るかを相談して、その形になろうという原子達が集まることにより、色々な生物として地球上で形としてあらわすことができました。

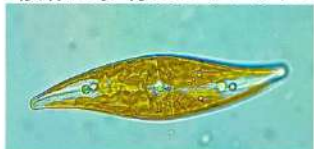
広い宇宙には無数の星があり、意識で満ち溢れています。このように形を生物としてあらわすことができるのは、この水の惑星、地球ただひとつで、地球は究極の希望の星なのです。



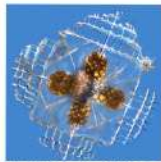
# イシカミの原子から生命が発生した (2)



## 複雑で多様なプランクトン



"Pleurosigma\_by John Whitley" by GTMResearch Reserve, via Flickr



"EL VUELO CRISTALINO DE LITHOPTERA, LITHOPTERA FENESTRATA, TOSSA DE MAR" by Proyecto Agua, via Flickr



"Guinardia striata (light micrograph)" by FWC Fish and Wildlife Research Institute, via Flickr

生物には、人間にとって悪い働きをするものも、人間のためにと考えられてつくられたものもいます。色々な生物は、色々な思いや意味が込められていることを知ることが大切です。

- ・ **カニ**は、平等の星のいて座から降りてきたことを、いて座を表す赤色の姿で知らせています。ハサミはイシカミがいて座に帰れないという悲しみの思いを断ち切ること、お腹に卵を持つのはイシカミがお腹に人間(になる原子)を入れて地球に降りたこと、横歩きは地球が他の星のように進化しないで今の3次元のまま過ぎていくことを表しています。磯辺のカニは泥を丸めて口に入れ、地球を掃除してくれています。右の写真は、宮崎県の鶴戸神宮の海岸にいたカニですが、歴史が書き換えられたことを怒っているようです。
- ・ **馬**は、いて座と関係していて、たてがみは小惑星帯、長い首はへび座とも関係したことを表しています。
- ・ **カエル**は、卵からオタマジャクシ、カエルと姿を変えていくことで、丸いイシカミからイシカミの分身、人間型のイシジンになったことを表しています。
- ・ **犬**は、シリウスと関係していて、人間の友達として創られました。



# ツチジン（ツチ人）・イシジン（イシ人）

人間の前には、“思い”を持って動くことのできるツチジンやイシジンが文明を創っていたと知らされて、人間ではなし得なかった文明を創っていたということでした。

ツチ・ジン、イシ・ジンは名前の通り、“思い”を持った土や石の成分でできたいわば人型で、横穴や土坑、古墳の中の石室などの中で、周りの“思い”を持った石のイシカミたちからエネルギーや知恵をもらいながら形になっていきました。

イシカミは動くことができませんでしたが、イシジンたちは自由に動くことができ、山や丘になった親のイシカミと交流もできましたが、水さえあれば柔らかなイシカミの体がエネルギー源となったので人間からは想像もできないことができたのです。

そして、それらの文明が存在したということ、伝えるために生きて増殖していく人間を創ろうと宇宙のモノたちは考えたのです。



群馬県 中筋遺跡



北海道 鳶の木古墳



## 【ちょっと一息】〈ポンペイ遺跡〉

ポンペイ遺跡は後年の人間がイシジン、ツチジンなどの文明があったことを証明するために、イシカミの火山が原子同士で話し合って噴火をし、厚い火山灰で保存をしたものです。

ポンペイの石灰の像は穴に石灰を流して出てきたと言われていますが、柔らかくて約 6m の深い処に二千年もの時を経て穴が残るでしょうか？ 深い地層から生きているような表情の石灰の人物像が出てきましたが、この人物は半ツチジンなので肺呼吸をしていなく、イシカミの原子に戻るだけなので苦痛はありませんでした。



この建物の中に石灰の家族の像（右横）が並んでいます。その深さにたくさんの穴が開いて、石灰を流すことでできたと思えますか？



父親が家族に火山の噴火で終わりになるので、そのまま横になるようにと話かけている親子の穏やかな寝姿です。



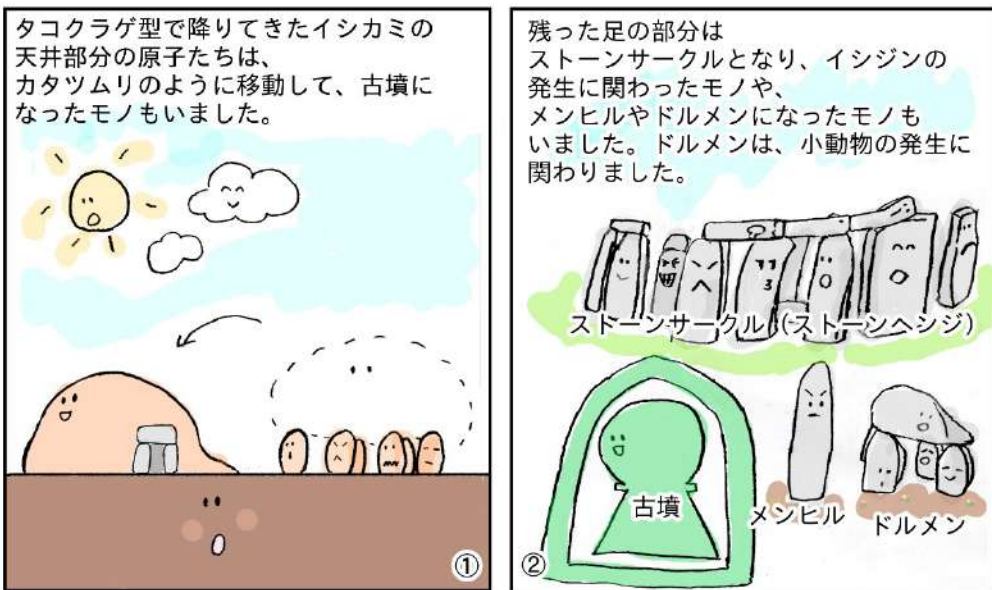
ポンペイ遺跡の犬（シリウス）不自然な形ですが歯や気管までわかるように残したのです。

# 古墳やストーンサークルになったイシカミたち

古墳やストーンサークルもイシカミが変化したものなのです。

古墳は人間がつくったとされていますが、表土には限りがあり、人口が少なく道具も無い時代に可能でしょうか？

ストーンサークルは、北はアイルランドから南はサハラ砂漠まで世界中にあります。メンヒル（立石）は、イギリス、フランス、アイルランドなどに多くあり、現在も立っているもので一番大きなものは地上9.5メートルあります。ドルメンは、テーブル上に石が組み立てられているもので、フランスのブルターニュ地方やアイルランドなど特にヨーロッパに多くあります。



# ツチジンから人間へ（１）



京都府 星原

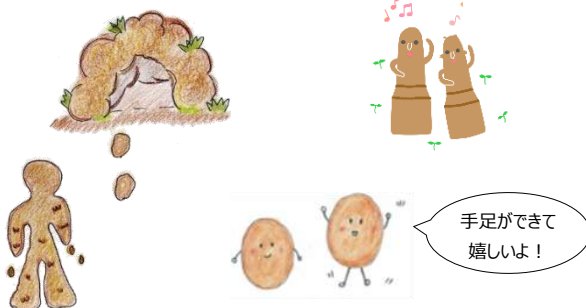
静岡県 粕谷横穴群

大阪府 高井田横穴群

地球に降りてきたイシカミは、山や丘のように動くことができませんでした。それで自由に動けて、何かを創ることができるようなモノになろうと思いました。シリウスをはじめいろいろな星たちの知恵で、土の原子たちが同じ目的をもって結合し、最初にできたのはツチジン（土人）でした。ツチジンは自由に動ける足と、小さな作業ができる手を持っていました。ツチジン同士は、たとえ遠く離れていてもテレパシーで意思を伝えあうことができました。それが縄文人で、土蜘蛛とも呼ばれました。



兵庫県 玉丘古墳



やがてツチジンとして生活していく中で原子たちは体の形を覚え、さらにもっと体に必要な機能があることを学びました。そのような機能を持った人間になるために、ツチジンの体験の記憶を持ったまま、原子たちは一旦分解しました。



配石遺構は、世界中にたくさんありましたが、石が取り去られて農耕地とされました。それらの石は石垣などに再利用されました。



人間を創ろうと思ったイシカミの原子たちは集まって石となり、ストーンサークルを作りました。そのサークルの中に、ツチジンの記憶を持った原子たちが集まりました。



北海道 入江・高砂遺跡



## ツチジンから人間へ (2)



人間になろうと集まった原子たちは、稲妻のエネルギーやストーンサークルの石たちに知恵をもらって、新たに半ツチジン（半人間）として生まれました。

半ツチジンは親のイシカミの成分が溶けたお汁を飲むことで、生きていくことができました。（アメリカのお汁）

イシカミが固まってしまった後は、ドングリなどを潰した粉を水で溶いてお汁として飲んでいました。

このように日本では半ツチジン（半人間）の穏やかな農耕生活の縄文時代が1万年近く続きました。

けれども半ツチジンは亡くなると土に戻り、自分たちがいたことを後に伝えることができないと思いました。

それで、石になるとそのまま残るので、イシジンになるように、後から降りてきたヨーロッパのイシカミに伝えました。

それを伝えたのが石馬であり、地上絵の白馬なのです。

<p>1 日本 大山</p> <p>日本の石馬は、石の文明をつくるように、仲間に伝えるに行くことにしました。</p> <p>石馬さん、よろしくね。</p> <p>まずは中国へ出発！</p> <p>日本 米子の石馬</p>	<p>2 至イラン</p> <p>トルコ カップアドキア</p> <p>イシカミが固まることを伝えると地下で多くのエンジェルが生まれました。</p> <p>石馬さんありがとう、シルクロードを通って中東に伝える行くね。羽があるから飛んで行くよ！</p> <p>中国 乾帝陵のペガサス</p>
<p>3</p> <p>ペガサスさん、ありがとう。大きな翼をつけたので海も超えられるよ！イギリスに伝えるに行くね。</p> <p>イラン ペルセポリスの有翼馬人間</p>	<p>4</p> <p>フランスのロクマリアケールは、ヨーロッパへ向かった石馬さんがあまりに遠かったので途中でカイト(凧)の形となって辿りついたことを現わしています。</p> <p>フランス ロクマリアケール</p> <p>5</p> <p>馬人間さん、ありがとう。石の文明を作るよう仲間に伝えるよ。</p> <p>イギリス ウェストベリーの白馬</p>



日本 米子市 石馬



中国 乾帝陵 ペガサス



フランス ロクマリアケール



イギリス ウェストベリー 白馬



イタリア 天馬と船



イタリア ボンペイ ケンタウロス

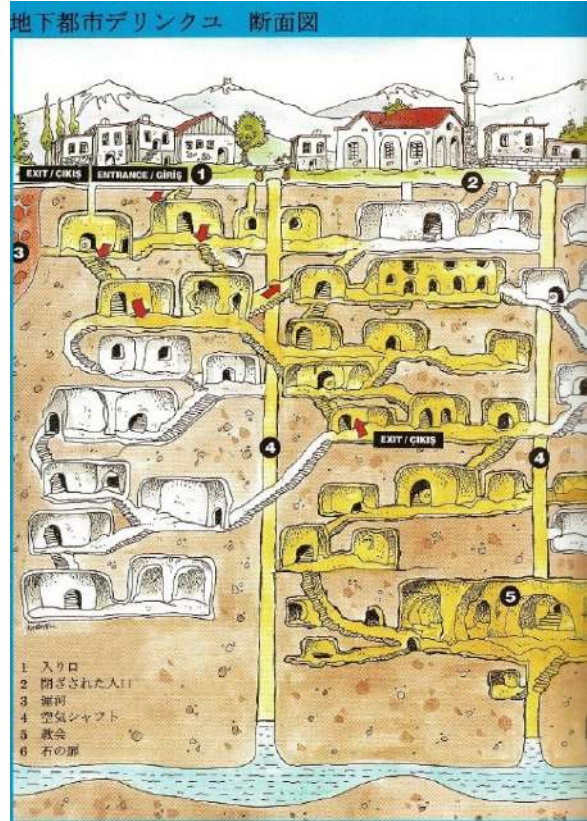
# カッパドキア

トルコのカッパドキアには、複数の巨大な地下都市がありますが、照明の電気や排気設備、水の供給、排泄物の処理など、今と同じ人間が地下に1万人も住むことができるでしょうか？ 現在、見ることは極一部ですが、それでも通路には大きな穴があちこちに開いていて、大きな底知れぬ深さの穴もあり、真っ暗闇の中で住めるでしょうか？ 当時の明かりは油を燃やすだけで、酸素がなければすぐ消えますし、真っ黒な煤が壁につくはずですがそれらはありません。地下都市の周りは岩ばかりで食べ物を作る農地も少なく、食料や水はどうしていたのでしょうか？

ということで、今の肉体の人間が住むことは、100%不可能と思われ、イシカミのお汁で生きていたイシジン、ツチジンの住居ということが当てはまります。

高所に岩の洞窟もたくさんありますが、人間では住むのは無理でもイシジンたちなら住むことができるのでたくさんの洞窟があるのです。

(イラスト:Ömer Demir)



とても狭い通路で、踏み外すと落ちてしまう穴がたくさんあります。

人間が出入りするには不自然なとても高い所に入口や窓があります。

# いろいろなツチジン

ツチジンは固まるが出来なかったので熱を加えて固めました。



## 中国 兵馬俑

各像は平均 178cm、  
薄いセラミックのような強  
度の焼き物でできていま  
す。何万体もいました。



## 高槻 今城塚古墳



## 高槻 今城塚古墳 家の埴輪



## 札幌 北海道博物館

セラミック並みの強さで  
中が空洞です。



## 東京国立博物館



## 高槻 埴輪工房 回る埴輪

宇宙意識体がこのよう  
に下りてきました。



## 宮崎 西都原考古博物館



## 青森 大湯環状列石

## どばんくん

# 石柱物語（1）

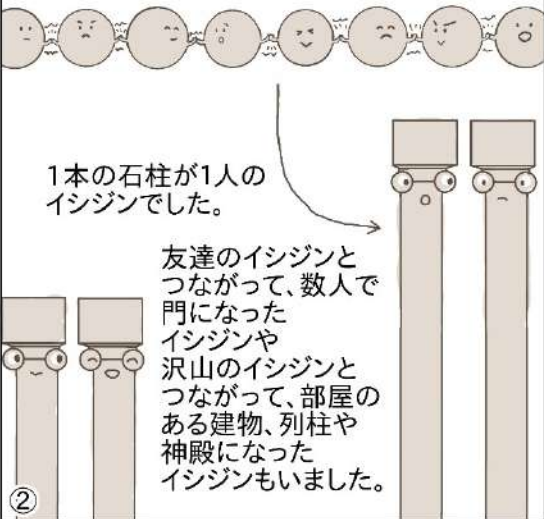
ヨーロッパ、中東、アフリカなどの遺跡には、円柱の石柱が、とても沢山あります。柱は初期のころは、屋根を支える目的ではないことが、柱の配置でわかります。又、何の機械もない時代に、巨大な無数の完ぺきな石の円柱が存在しますが、今の肉体と同じ人間が創ったと思われませんか？ 遺跡の石柱は、イシカミが変化した“思い”を持つ「イシジン」の巨人だったのです。

初めのイシジンは、ストーンサークルや立石となり、しだいに複雑な形へと進化していきました。




マルタ 博物館 新潟県 馬高縄文館 イタリア ポンペイ 目の石柱 ①

もっと立派できれいな形になりたいと思ったイシカミの原子たちは、しっかりと手をつなぐことで、初めて円柱の形のイシジンになることができました。



1本の石柱が1人のイシジンでした。

友達のイシジンとつながって、数人で門になったイシジンや 沢山のイシジンとつながって、部屋のある建物、列柱や神殿になったイシジンもいました。

②

石柱は、射手座の知恵を持っていて指導する役であったと伝えられています。列柱が並んでいることで原子たちが物質化するには”並ぶことが大切”なことを知らせていました。



ヨルダン ジェラッシュ遺跡      ギリシャ スニオン岬

イタリア シチリア島 セリヌンテ      メキシコ チェチエンイツァ遺跡

③

④石柱の表面が凹凸になっているものは、水の原子ができるだけ多く集まってから地上に降りるためです。らせんになっている溝は、宇宙のエネギーがらせん状になって降りてくることを知らせています。



イラン ペルセポリス      ↑ ギリシャ 古代 アゴラ

イタリア アドリアーノ神殿      キプロス アマタス 遺跡

## 石柱物語（2）

世界の色々な石柱をご紹介します。



イタリア  
オステア・アンティカ遺跡  
一部がレンガのままの部位と  
大理石に変わっている部位が  
ある。それぞれのイシカミの  
原子たちが、思いを持って  
変化した結果の石柱



エジプト カルナック神殿  
巨大な石柱が沢山



イタリア サン・マルコ大聖堂  
色とりどりの石柱



メキシコ グアダルーペ大聖堂  
らせんを伝って支配した。



トルコ 地下宮殿  
336本もの石柱がある。  
下には水が溜まっています。  
魚が泳いでいます。



イタリア シチリア島  
ディオスクリ神殿 動物？ ⑤

### 【ちょっと一息】

<匂い> 人間の5感の一つに匂いを感じる嗅覚があります。

そして人間は食べ物を食べてエネルギーを得てから排泄物として体の外に出します。その大切な役をした排泄物に、嫌な臭いをつけさせたのは、人間を支配しようとする星でした。その支配星は人間が食べ物でエネルギーを得ることで、それを大切にすることを妬み、反対の良い香りのアロマ、香水などを好むように嗅覚を操作したのです。

それで体の働きをしてきた食物の残渣物の排泄物の匂い(アンモニア)を嫌な匂いと思わせ、いわゆる良い香りを大切にしていると、排泄物になった原子たちは何らかの反撃をしようと思っているようです。

<髪の毛> 頭部にある髪の毛は、無数の小さな星をあらわすと言います。そして小さい星も思いを持っていますが、人間を支配したい星は、その小さな星を支配し、思うままにさせようとします。メンタルが安定していると、髪の毛にも気がつかいますが、メンタルが不調になると長い髪を振り乱すと良く言います。それは長い髪の毛だと、思いを持った原子たちが多く、それが支配されるとより大きく支配されることになるからです。

### <エジプトの像の顎にあるもの>

古代のファラオ像などの顎には、付け髭と言われていたものが付いています。エジプトのイシジンは、頭の上のお汁のツボから、エネルギーを得ていましたが、口からも食べるようになり、噛んで味わって汁だけを吸収して、その食べ物のカスをこの管から捨てていたと知らされています。実際のツタンカーメンの黄金のマスク像の内部には管があります。髭だとすれば、管は必要ないはずですが。



# イシジンから人間へ（１）



①

① ソラから降りて来た初期のイシカミの一部が円墳やストーンサークルやストーンヘンジになりました。それらが最初のイシジンでした。ストーンサークルやドルメンの中で新たなイシジンが創られ、立石になったものは指導役として、生まれてくるイシジンや、後から降りてくるイシカミに知恵を与えていました。大きなストーンサークルからは巨人のイシジンが、小さなストーンサークルからは小人のイシジンが生まれました。



②



イギリス ストーンヘンジ



スコットランド  
オークニー島の立石



イタリア  
サルディニア島の立石

② ストーンサークルで創られるイシジンよりも、効率的にエネルギーや知恵を与えて創れるように、円墳の中に石室を作り、その中でもイシジンが創られました。



③

③ 初めは単調な形のイシジンでしたが、色々な仕事するのに適した形のイシジンが創られました。



## 【グランドサークルの岩絵】

グランドサークルは、足や手や目など体の一部を岩で知らせていると、伝えてきてそのような巨石があります。手や足のない、初期のツチジンのようで、お汁を岩の穴から吸い取っていたと伝えられるように二本の管があります。

Photo by David Muench

## 【イシジンの体のパーツを表す岩】



頭



目



気管と食道



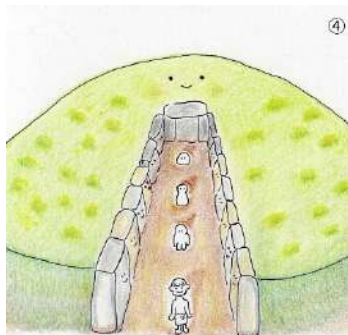
手



足

## イシジンから人間へ（２）

- ④結合が充分ではない原子たちは、羨道（トンネル）を通る間に両側の石（“思い”を持ったイシジン）からエネルギーや色々な知恵を与えられて、より複雑な形で知恵のあるイシジンとして生まれるようになりました。  
試行錯誤を繰り返し、最終的に一番動きやすいように進化したのが人型のイシジンでした。



滋賀県 野洲市  
宮山 2 号墳



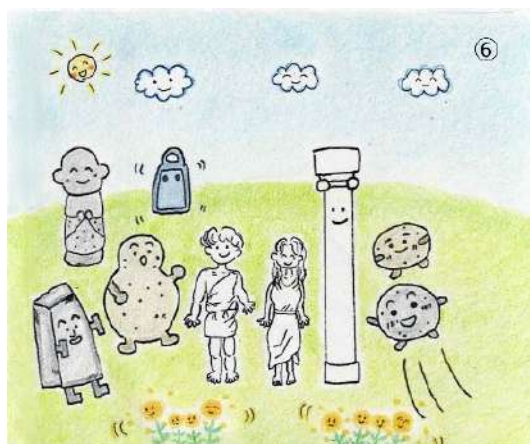
フランス ロクマリアケール  
石積古墳

- ⑤最初の人型のイシジンは太った形でしたが、ヘビ使い座が降りてきて、今の人間の美の基準のイシジンになっていきました。



太ったイシジン イタリア  
サルディニア島の遺物

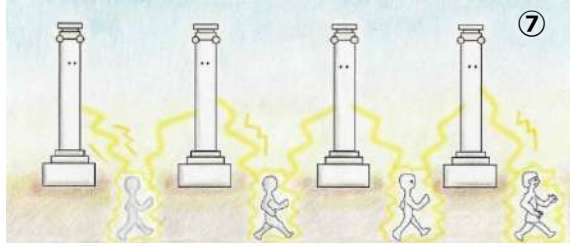
- ⑥イシジンには色々な形があって、立石や石柱、銅鐸などがあり、人間やイシジンにエネルギーや知恵を与え、指導していました。  
地球中に色々なイシジンが現れ、彼らが楽しそうに暮らしているのを見た悪者の星は、イシジンだけに地球を独占させまいと思い、イシジンを固めて石にする計画を立てました。  
イシジンはそのことを知ったので、固められないうちに子孫を残せるようにと、地球を応援する星たちに応援を頼みました。それで人間が作られることになったのです。



マルタ島の遺物  
（←細い人 ↑太い人）

## イシジンから人間へ（3）

石柱は建物の一部ではなく、“思い”を持ったイシジンです。



⑦人間になるためには、仕事をしなければなりません。それはイシジンとして固まるか、原子が一度分解して人間になるかという選択でした。それを決めるように巨人になったイシジン（石柱）が教えました。人間になりたいイシジンは巨人のイシジン（石柱）の通りを歩くことで、エネルギーを与えられ、しっかりと原子が結合して、より人間に近いものになりました。



ギリシャ エレクテイオン  
アテナの女神像



ヨルダン ジェラッシュ遺跡



⑧円形の劇場には、半イシジン（人間に近い状態になったイシジン）が集まりました。そこでは人間になるためのことを教えられました。そして劇場の中央で巨人のイシジン（石柱）たちからエネルギーを与えられ、人間として生まれ変わりました。



円形劇場と石柱  
トルコ エフェソス

### 【ちょっと一息】〈宇宙と人間〉

宇宙まで飛び出せる文明の人類がいるのに、アマゾンの奥地には今も原始の生活をしている民族もいるのはなぜでしょう？それは宇宙から降りてきた“思い”を持った原子の集合体であるイシカミが、地球上のあらゆる場所に降りて、人間となっているからです。

宇宙には無数の星たちがいて、それらも全て“思い”を持っていますが、具現化できるのは地球だけで、その星たちが地球上でいろいろなモノになります。

そして宇宙での最高傑作が五感を感じ自由に動くことができる人間で、その人間が究極の文明まで発展してきましたが、人間になるまでの過程を無視し、宇宙で自分たち人間だけが“思い”を持っていると思っています。

そしてこの理想の地球を形成してくれている存在 = 原子やそれ以下の微小なモノたちの“思い”を無視していることへの反撃があること、又、宇宙には“人間の体験をしたい”という宇宙意識体が無数にいるということ、さらにその人間を支配したいという宇宙意識体が、想像を超える形でいろいろと関与しているということを知りません。

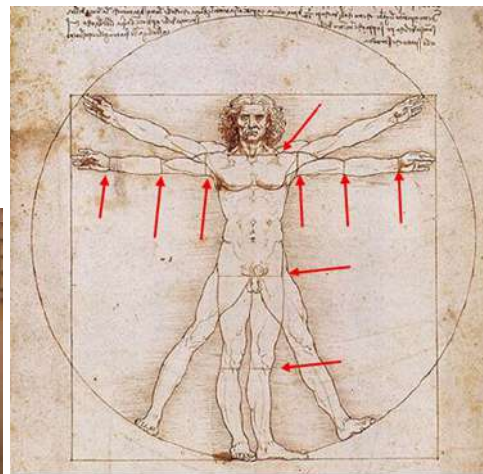
その結果が今の地球の惨状を招いているということ、地球を支えてくれている存在たちがその仕事をやめようと思っている事を知らせるために、今の肉体の人間ではなし得ることができない地球の謎とされている遺跡などの答えを宇宙（ソラ）は知らせてくれたのです。

# いろいろなイシジン

## ダ・ヴィンチの人体図

ソラからの情報ではイシジンは、各パーツを自由に組合すことができますと知らされています。

手を広げた人体図は、頭部、手首、上腕、股関節、膝関節などは自由に取り外せることができたということで、半イシジンの絵です。(矢印の部分には線が入っています) 残された石像でそれがよくわかります。



**ローマパンテオン**  
天使



**ドームの天井**  
ドームの天井の穴は、天使たちの出入り口でした。パレスチナの黄金のドームでは、マホメットが天馬に乗って飛び立ったという伝説があります。



**ヴァチカン博物館**  
動物人間



**イタリア  
サンセヴェーロ礼拝堂博物館**  
このようなベールを実際に掘ることができるでしょうか。生きていたイシジンがそのまま固まったとすれば納得できます。



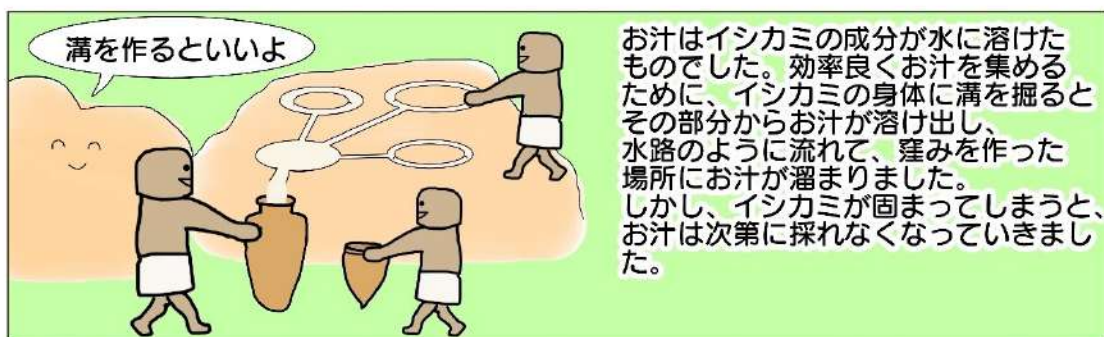
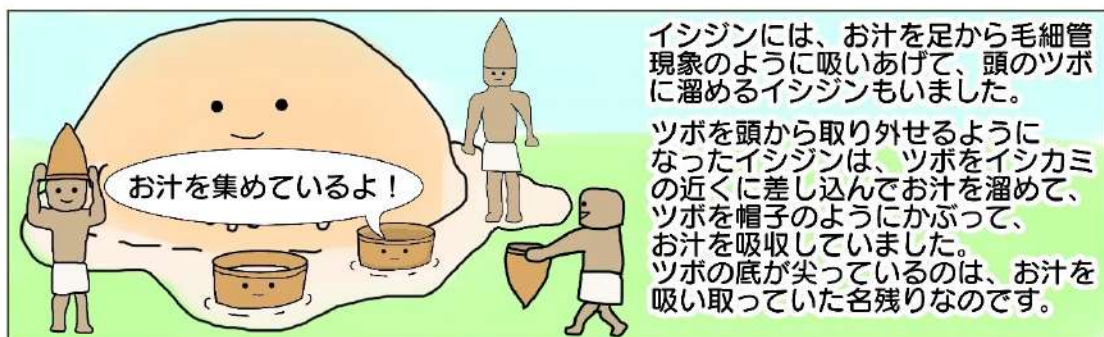
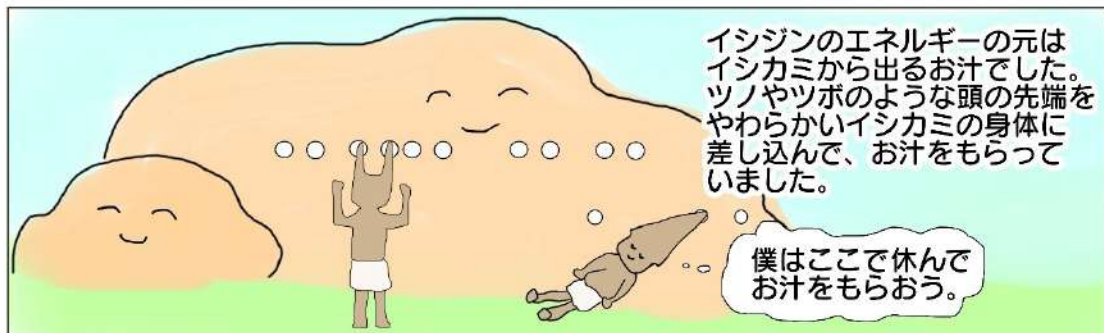
**青い目**  
人間が造ったのであれば、どのようにして大理石の中に青い目を入れたのでしょうか。

## ダ・ヴィンチの地図

レオナルド・ダ・ヴィンチは航空写真もない時代に正確な街の図を描いていますが、これはダ・ヴィンチが半イシジンだったので浮き上がりソラを飛ぶことができたからです。



# お汁とツボのお話（1）



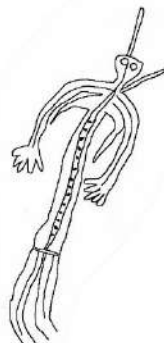
## お汁とツボのお話 (2)



アメリカ アーチーズ国立公園  
イシカミからお汁が出ていたことを、  
鏡餅のような白い岩で表しています。



アメリカ  
キャピトルリーフ  
国立公園の岩絵



オーストラリア  
カカドゥー  
国立公園の岩絵



北海道余市町  
フゴッペ  
洞窟の岩絵

世界各地で発見されている岩絵や壁画には角や棒状のものが付いた人型が描かれています。イシジンやツチジンがお汁を管から吸っていたことを表しています。



ギリシャ メテオラ  
人間では決して掘ることが出来ない、高い  
岩山の上に井戸があります。イシカミが  
イシジンのために作った井戸なのです。



アメリカ ユタ州の岩山  
巨人たちがお汁を飲むために管や容器を  
差し込んだ跡の穴が残っています。



大阪府立弥生文化博物館  
底の方に小さな穴があいています。



栃木県しもつけ風土記資料館



エジプト メンフィス  
頭がツボ型のツチジンやイシジンです。

## お汁とツボのお話 (3)



イタリア ポンペイ

たくさん並ぶツボは哺乳瓶で、固まる前は底の先端部は乳首のような働きをしていてそこからお汁を飲んでいました。

かまどや葡萄酒の販売所といわれているものがあちこちにあるが、内側にも焚口はなく、大きな壺が埋め込まれています。葡萄酒は大きな壺に入れておくと一気に酸化するのでこれも当てはまりません。



シチリア島 パンタリカ パオロ・オロシ博物館

バチカン博物館

二本の角のある土器はイシカミの身体に差し込んでお汁をもらっていたことを表し、二つの目のような突起は乳房を表しています。中央と右の写真は頭がツボになっていて、そこから栄養をもらって動いていたことを表しています。



沖縄県立埋蔵文化センター

ギリシャ アテネ

底が尖ったツボは世界各地にあります。

ツボも生きていたことを表しています。

# アトランティス物語（1）

伝説のアトランティスは、大西洋上のアトランティス大陸や地中海近辺、ヨーロッパで、高度な文明を築いたイシジン達の国でした。アトランティスには、前期と後期がありました。前期は、地球全体が霧の幕に覆われていて暖かく、雨は降りませんでした。イシジンは、原子の結合が緩く軽かったので、歩かなくても少し浮いて移動することができました。非常に優れた技術があったなどの伝説は、イシジンだったので、超人的なことができたのです。争いはなく、天国のようでした。後期に入ると、天国のような暮らしを妬んだ悪い思いを持った原子達が宇宙から降りてきて、自分さえ良ければよいという思いのものでいっぱいになり、争いが起きるようになりました。それを見ていた霧の膜の水の原子達が手を離れたので、霧の膜が壊れ、また、その頃平らだった地球が丸くなり、気候の厳しい地域があらわれました。その頃、現在の地中海の場所は、川と大平原があるだけでした。大平原の内陸は、気候が厳しくなったので、海にする計画が立てられ、想像を絶する大きなイシジンの巨人達によって、大平原を掘った土を、両脇の陸に積み上げたり、ジブラルタル海峡を通して、大西洋の真ん中に運びだして置いたりして、地中海をつくりました。大西洋の真ん中に土を置いた場所が、アトランティス大陸になりました。



地中海をつくるため、川や大平原だった場所の土を掘り上げる巨人さん

土を掘る仕事や運ぶ仕事をした巨人達への報酬として渡されたものは、モロッコのヘラクレス洞窟の石臼とされている円盤状の遺物や、イタリアのサルディニア島のかまぼこ形の遺物が遺されています。



モロッコ ヘラクレス洞窟 積み重ねられた円盤状遺物



イタリア サルディニア島 かまぼこ形遺物

アトランティスでは、全ての具現化の希望が叶ったため、変化がなくなり、アトランティス大陸の原子達は、自ら分解し滅び、大陸は伝説として残されたのです。ヨーロッパ各地に多くの遺跡や遺物があるのは、アトランティス人だったイシジン達が、自分達の存在した証拠を遺そうとしたためです。特にパチカン、イタリアのミラノのドゥオーモ、また地中海の島々にはとても多くの証拠となるものが遺されています。地中海の島に多くの遺跡が残されたのは、島であれば、未来にあまり人が住むことはなく、壊されることが少ないだろうと考えたからです。

アトランティスの証拠のうちのいくつかをご紹介します。

石柱や建物、水道橋などもイシジンでした。人間がつくったとするなら、このように完璧に設計し、巨大な石を正確に削って運ぶことができるでしょうか？



イタリア ローマ 水道橋 ギリシャ ゼウス神殿跡

## アトランティス物語（2）

地中海の周辺には、彫刻と言われている、生きているような精巧な石像達が無数に出土しています。このような皮膚の質感や衣服の薄い布のシワを、人間がノミで彫ることができるでしょうか？  
これらは、イシジンだったアトランティス人が固まったものなのです。



イタリア トレヴィの泉



イタリア  
トリニタ・デイ・モンティ教会



バチカン  
サンセヴェーロ礼拝堂博物館

ヨーロッパには、とても高い建物の上に石像が据え付けられているものがあります。重機のない時代に、重い石像を高い位置に取り付け、長い年月崩壊しないようしっかりと固定することが人間にできるでしょうか？  
柱や台や石像もイシジンだったので、しっかりと固定されているのです。



港の入り口を跨いでいたというロドス島の巨人さん



バチカン サン・ピエトロ大聖堂



イタリア  
サン・マルコ大聖堂

古代七不思議の一つとされているもののうちの一つ、ロドス島の石像は、紀元前3世紀に港に築造され、太陽神ヘリオスをかたどった彫像です。地震で崩壊したのち、後世に残骸も片付けられてしまったので、現在はありませんが、台座も含めて50mの高さがあったと言われています。

人間がつくったと思うと不思議ですが、イシジンの巨人が固まったもので、不思議ではありません。

ヨーロッパの教会には、とても天井が高いものがあります。サン・ピエトロ大聖堂の天井の高さは約45m、クーポラ（ドーム型天井）部分の高さは、約120mです。人間には、そのような高さは必要ありませんし、当時の人間に建築が可能でしょうか？  
これらは、羽根の生えたイシジンが天井を飛び回るのに必要だったのです。



↑ 人間  
バチカン サン・ピエトロ大聖堂



チェコ プラハ  
聖ヴィート大聖堂

# アトランティス物語 (3)



イタリア シチリア島  
 パンタリカ渓谷(断崖絶壁に多数の  
 穴がある)で、15cmほどある巨大な  
 安全ピンの遺物が発見されています。  
 安全ピンは、イシジンが、肩で服の布を  
 留めるのに使っていたものでした。  
 (巨人用で、巨大でした。)



石畳や大理石の床は、イシジンの  
 原子が変化したものです。  
 大理石の床は、ぴったりと隙間が  
 ありません。  
 古代の人間がこのように  
 大理石を正確に加工することが  
 できるでしょうか？



イタリア シチリア島  
 エリチェの町の石畳



イタリア ミラノ  
 ドゥオーモ 大理石の床

モザイク画もイシジンが変化したものです。  
 馬と魚のようなしっぽが合体している絵は、想像上の生き物を  
 描いたと考えられていますが、本当にそのような生き物が  
 存在していて、体が軽いので、浮き上がらないよう、  
 しっぽで円石柱に巻きついていました。



イタリア ローマ国立博物館  
 マッシモ宮



イタリア シチリア島  
 カザーレ別荘跡



ギリシャ デルフィー  
 アトランティスには、これに似た  
 数十段の円形階段が  
 あったそうです。

前期のアトランティスでは、平和で理想的な  
 暮らしでしたが、後期アトランティスは、争いが多く  
 起こりました。  
 右のなんとも言えない表情のブロンズのイシジンは、  
 戦うのが嫌になったので固まる事にしたそうです。



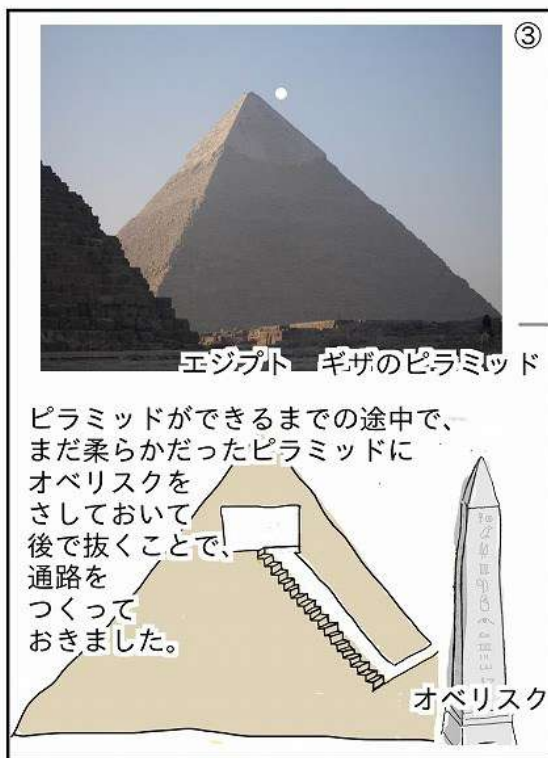
マッシモ宮  
 ブロンズ像  
 石に比べて早く  
 次の物質のものに  
 変わるので  
 ブロンズに  
 なったそうです。

アトランティスでは、希望通りの"形"になることができ、後期で  
 いきつくところまでいって、それを極めた最高傑作がイシジンでした。  
 しかし、イシジンには五感がなかったため、五感のある生きる"人間"を  
 創ることにしました。その文明の記録として、遺跡やイシジンが固まった  
 石像を遺し、アトランティスの原子達は、自ら分解し、滅びました。

右の写真の果物の形のベッドサイドランプは、形だけどんなに美しくても  
 食べることができず、見るしかできません。  
 現在の人間社会も、見た目ばかり重視される時代ですが、いかに  
 見るだけの世界がむなしいかよくわかる作品です。



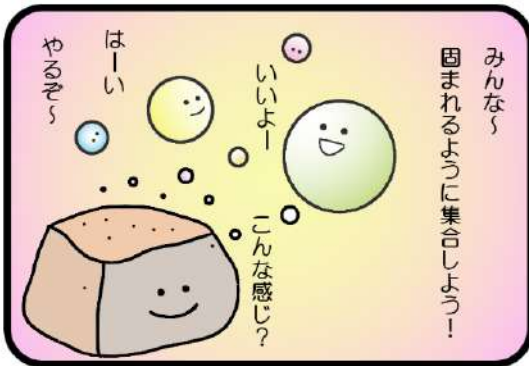
# ピラミッド物語



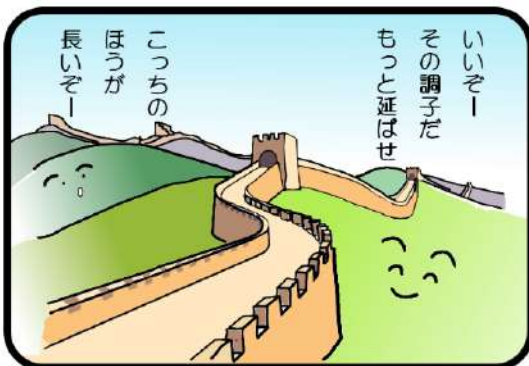
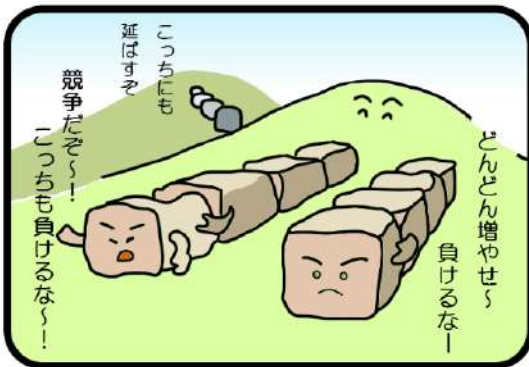
# 万里の長城物語



万里の長城も、粘菌が増殖するのと同じでイシカミの原子たちが競争して増殖していきました。それは地中海のヌラーゲの遺跡なども同じです。また、「並ぶことが大切」とカルナック遺跡や水道橋と同じように、二本の長城が並んで増殖してきました。



万里の長城もいわば“ツチジン”だったので、動かないと固まってしまうので競争して増殖していきました。けれども競争もいき過ぎると争いや戦争につながってしまいます。悲惨な結果になるということをオリンピックを通して知らせているようです。



# 水源物語 (1)

イタリア ローマにある噴水、トレビの泉では、1年中豊富な透き通った水が湧き出ており、ローマ市内各地には、流しっぱなしの水飲み場もあります。  
 日本では、静岡県柿田川湧水では、やはりきれいな水が1日100万トンもの量が湧き出ています。  
 これらの豊富な清水はどこから来ているのでしょうか？  
 宇宙(ソラ)からは、このように知らされています。



トレビの泉

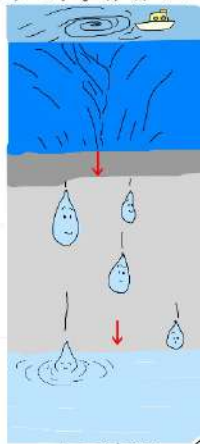


柿田川の湧水

海や湖の水は、鳴門の渦潮などから地下空洞に入っていきます。地球の中には高温のマグマは存在しなく、地下は空洞が縦横に走っています。深海の水温は約0°Cから4°Cで、深さが増すごとに低下します。地球の内部がマグマなら、深海になるほど高温になるはずですが。(火山の噴火も地上の酸素と触れてから、高熱になるとも伝えられています。)海の水は、濾過され、地下の真水の川や湖になり、遠く離れた地域に湧水として出てきます。



鳴門の渦潮



水の濾過 ①

それを利用したのが古代の噴水や古代ローマ水道、砂漠のオアシス、イランなどで見られるカナートなどの地下水路です。



ロシア 夏の宮殿 噴水



スペインアルハンブラ 宮殿 噴水



② イラン カナート



メキシコ セノーテ

山の中で間欠泉が出るのは、波が岩を押しこむことで、岩が押し合って地下水を押し出しているのです。高く吹きあがるのは、水の原子たちが自分たちが来た星(水星)に帰りたと思うからです。

③

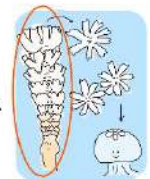


北海道 函館市 しかべ間欠泉



アメリカ イエローストーン 国立公園

④ 古代ローマ水道は、山はトンネルや迂回、低地は水道橋を通るなどして、水が流れています。これらは、インジヤンや人間がのちに水を利用できるようにと、クラゲが増えるかのように増殖してできたのです。



クラゲの増殖

人間が水を使えるように、頑張って増えていって水を通そう!



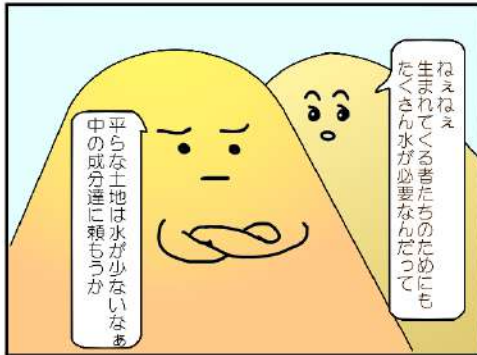
トルコ 水道橋



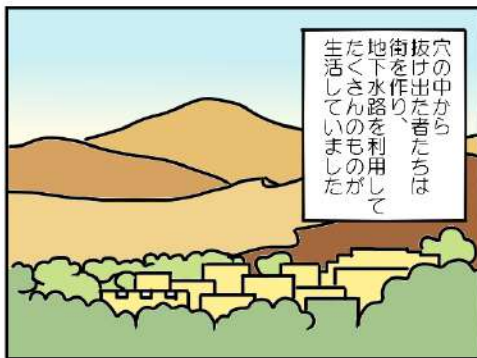
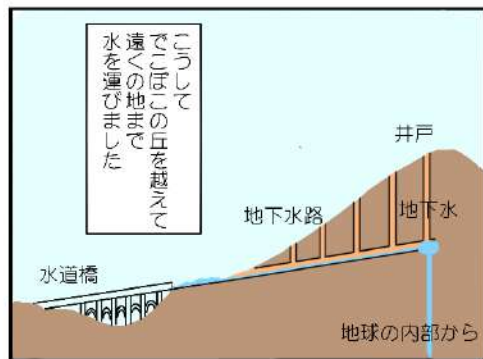
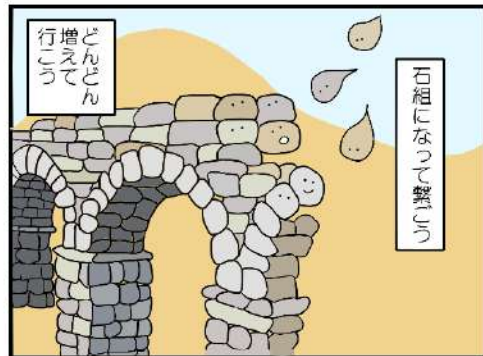
クロアチア 水道橋

# 水源物語 (2)

カナート① (横穴式井戸)



カナート②水道橋



# 石の円筒遺跡

サルディーニャ島のヌラーゲと呼ばれるものや、シェットランド諸島、アイルランド、ジンバブエ等には、よく似た不思議な円筒状の石の遺跡があります。

これらは、  
どのようにして  
できたの  
でしょう？



イタリア サルディーニャ島  
ヌラーゲ

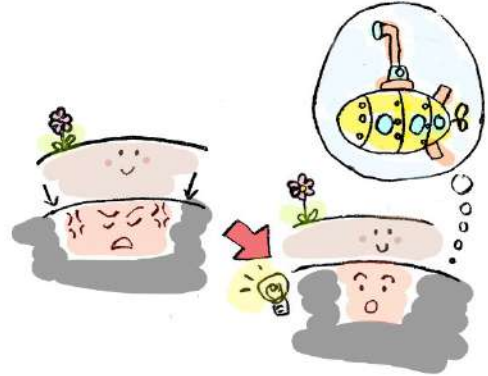


スコットランド  
シェットランド諸島  
ブロッホ



①

地球の地下になったイシカミたちは、  
上から押し付けられ、  
真っ暗でした。



仲間がいるのかな？  
外の世界を見てみたいなど  
思っていました。  
そこで、

②

地下のイシカミは、  
潜望鏡のように  
伸び上がりました。  
そして、粘菌やキノコが  
増えるように  
増殖していきました。

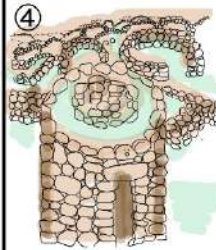


粘菌



福島県浄土松公園 キノコ岩

③



不思議な円筒状遺跡は、  
人間が石を積んで  
つくったものではなく、  
伸び上がり、増殖した  
イシカミが、後に石に  
変化しました。

ヌラーゲが遠くになると  
低い石垣になっている  
のは、イシカミのエネルギーが  
なくなっていったからです。

ヌラーゲでは、イシジンがつくられました。



サルディーニャ島 ヌラーゲ

## 潜在意識と顕在意識の意味



潜在意識はその人と関係のある星から送られる“思い”で、その人の生き方はその星から送られる潜在意識が全てを決めます。

脳は身体の機能を指令はするけど、顕在意識は脳で創られるのではなく、宇宙から送られる意識の受信器に過ぎないということです。

宇宙から送られるという顕在意識は、宇宙の成層圏にその人のこれまでの過去世を含むすべての体験の記憶が残された部屋にあり、そこから瞬時に脳に送られます。

それは“量子の揺らぎ”で、それが実行されます。

脳の左脳は顕在意識で言語や計算などを行い、右脳は潜在意識でひらめきやイメージなどに関わります。

### 【ちょっと一息】〈彗星〉

人間は星も意識があることを認めなく、彗星も単なる氷やガスの集合体と思っています。

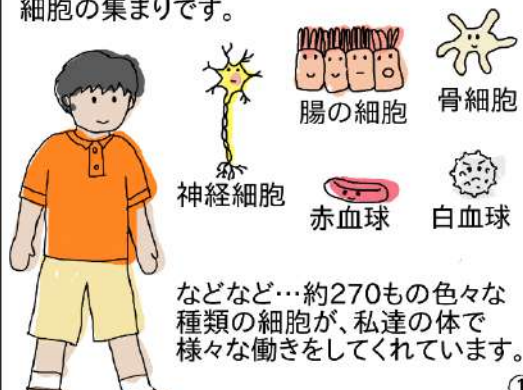
それでそのことを警告するために、悪さをして知らせようとする宇宙意識体の集合体が彗星なのです。

それで争いを起こさせているのです。

昔から彗星は凶事が起こると言われています。ハール・ホップ彗星もヘル＝地獄へ移るという意味で、それが近づいた後、ハトシエプストのテロ事件がありました。

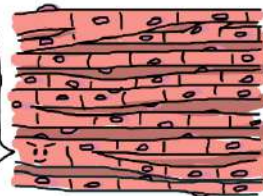
# 細胞の“思い”

人間の体は、臓器や皮膚、目、あらゆるところ全てが細胞で出来ていて、何十兆個もの細胞の集まりです。



① などなど…約270もの色々な種類の細胞が、私達の体で様々な働きをしてくれています。

私達(心臓の筋肉)は、人間の一生の間、一時も休まずに働いています。

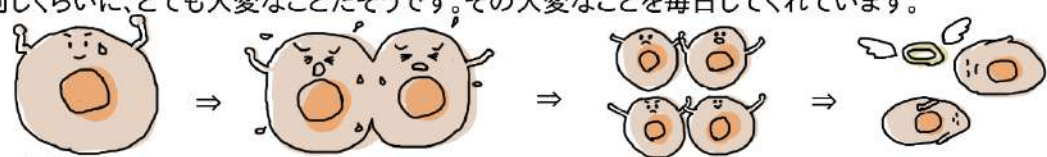


② 心筋細胞

心筋細胞は、横紋筋という筋肉で、横に並んでいます。それは、宇宙で一番大切な“平等”をあらわしています。人間の世界は、不平等ですが、心筋細胞達は平等に働いています。

原子の集まりの細胞も「思い」を持っています。

細胞は、細胞分裂をして、身代わりを生みます。それは、細胞にとって人間が赤ちゃんを生むのと同じくらいに、とても大変なことだそうです。その大変なことを毎日してくれています。



③ 一生懸命働いてくれることで肉體は成長、維持できています。 次の細胞を生むための細胞分裂をして 生まれた新しい細胞達もまた働いて 毎日、死にゆく細胞達も沢山います。


細胞がサイン(身体の痒みや痛み、違和感など)を出している時には、その部位に意識を向けて、細胞への感謝と何を訴えているのか?夢などで知らせてくださいと語り掛けてほしいそうです。

④ 大変な思いをして、細胞が肉體を維持していることを知ると、自分や他者の肉體を大切にしなければなりません。



また、人間として肉體を持てることは、奇跡に近いことで、人間は、五感を感じることでできる宇宙で最高の作品です。

⑤ 遺跡、地上絵、クロップサークルにも、細胞分裂が表されたものがあり、ご紹介します。



トルコ エフェソス 天井 クロップサークル(穀物模様、ミステリーサークル)は、宇宙(ソラ)のものからのメッセージです。左図は、2001年7月のイギリスのもの

# ぼくらの世界は原子でできている (1)

①

ぼくらの世界は原子でできている

②

ねえ、こんな話を聞いたことはない？

植物を育てるとき 嘗めて育てたら  
とても立派に育つって

すてき

きれいね

③

食べる前に ありがとうって 思ってから 食べると  
いつもより 何倍も 美味しく 感じるって

④

こんな話をきいたことはない？

古い家があって  
誰かが 住んでいるときは 何とも無かったのに  
誰もいなくなると 壊れるのが とても早くなるって

⑤

新しい物が 欲しいなって思うと  
今まで 使って いたものが 急に 壊れちゃったり  
どうしてだと思う？

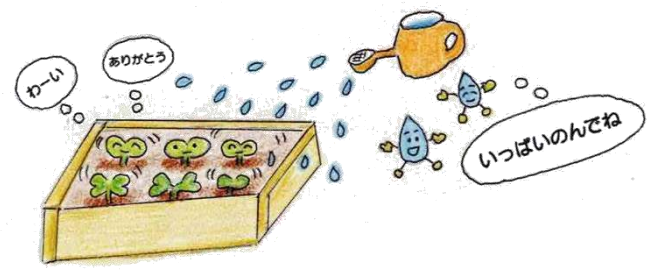
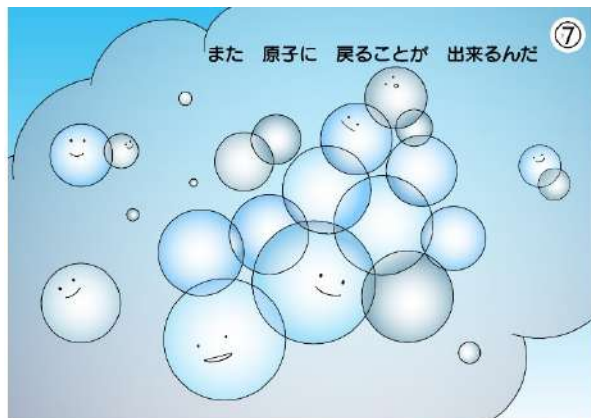
全部 気持ちがあるからなんだよ

⑥

それなら古くなっても 捨てられないよ？  
違うんだ  
今までありがとうって思って  
ちゃんとゴミとして 捨ててくれたら  
集められて 燃やされて…



# ぼくらの世界は原子でできている (2)



水やりの時、野菜や花たちが喜んで 気がしませんか？

# 謎を解く鍵

2004年この情報を受け取った故アラファト（パレスチナ自治政府）議長が、過ちを認める異例の『私自身をはじめ、過ちを犯さない人間はいない。予言者でさえ過ちを犯した』と発言、その後度々起きていた悲惨な自爆テロがほとんど起きなくなりました。

その後タカ派で有名だった故シャロンイスラエル首相も、和平派に転身し、2005年にガザ地区からの撤退を実現しました。

けれども二人とも、シオニストの強硬派に暗殺、暗殺未遂とされ、その後はこの情報は完全に無視され今に至って最も悲惨な状況になっています。

欧米では残酷な磔の十字架が氾濫していますが、初期の磔の十字架は「イエスを信じるとこのようにする」という意味で、大昔のキリスト教の権力者が利用していたのを、その後人々を支配するために利用したということです。

すなわち、身代わりで死んでくれた磔のイエスが死の恐怖を取り除いてくれると思わせ、布施をさせることで、宗教組織は巨大な富を得て、巨大で豪華な教会を建てていたのです。

それで当時のベネディクト法皇のバチカンに知らせましたが、その数か月後？それまで犬猿の仲だったロシア正教と和解したとニュースが流れ、団結してこの情報を知らせないようにしているようで、益々宗教の違いによる争いがひどくなっています。

それでも宇宙からは、なんとしても地球の平和のために穀物模様、クロープサークルの複雑な模様で知らせてきていましたが、それらを受け入れる人々があまりに少ないので今ではほとんど創られなくなりました。

仮に、宇宙や地球の謎、人間では制作不可能な古墳や遺物などの謎の答えが集まった部屋があると、その部屋を開けることができる鍵があるとします。

それがキリスト教のバチカンのシステーナのカギと、イスラム教のパレスチナの先祖代々のカギ、この情報を知らせてきた部屋で突然現れた鍵がとても良く似ていることで、その部屋を開けることができる、すなわちその鍵で部屋を開けることで、本当のことと知らせたと、同じ頃、そのことをカギの形の穀物模様の出現で表しました。

すなわち、キリスト教とイスラム教の先祖は同じで、そのことを知らせた者が住んでいた部屋に現れた鍵が似ている。鍵が重要なシンボルの役をしていることを、ソラが穀物模様で知らせたということで、知らされてくることは全ての筋道が通っているということです。

ちなみに、システーナの博物館には、無数のイシジンの石像などの遺物、絵画や巨大なタペストリーの模様などが、知らせている事の証拠品であるということです。

一つは2001年の帯広、2023年のカギの形の穀物模様、そして2005年部屋から突然出て来た不思議な鍵がシステーナ礼拝所のカギと似ていたことです。

システーナ礼拝所はバチカンにあります、バチカンには生きていたような人物や動物の石像が無数にあります。

そのことが人間以外の文明があったことをあらわすということで、それらを当てはめることであらゆる謎がとけるということです。



システーナ礼拝堂の鍵



突然現れた鍵



NHK 国際報道 2025



<https://www.cropcircleconnector.com/2023/cakebole/cakebole2023.html>

# 最後に

最後までご覧くださりありがとうございました。

私たち特定非営利活動法人地球の平和のための謎とき会は 2009 年 7 月より特に宗教の違いによる争いが続き、地球の平和のために国連を始め世界各国にこの情報を送り、2017 年 4 月に一旦活動を終了しました。

その後、あまりにガザの惨劇がひどいために、再度活動を 2024 年 7 月に開始しましたが、丁度一年経った現在は、ガザの惨状はナチスのホロコーストと同じような状態となり、地球の平和はさらに遠のきました。

世界中が分断の流れで、貧富の差がますますひどくなり、これまでにない異常気象となっています。

人々は地球に住まわせてもらっているのに、宗教などに頼るばかりで、決して地球を形成してくれている原子たちに目をむけません。

宇宙（ソラ）から 25 年も前から、地球を形成している原子たちが“思い”を持っているということを繰り返し伝えられ、地球の謎を解くことを証拠として伝えられてきました。

けれども決して、それらは認められることなく、地球を形成する原子たちが、我慢の限界だと、度々警告がなされていましたが、ますます反対の流れになっていっています。

それはこれまでにない酷暑で、40 度さらに 50 度などという気温が観測され、大洪水、大干ばつなど、人間を地球に住まわせまいとしているようです。

それも地球を形成する原子や水素たちが“思い”を持っていることを決して認めないことへの反撃でもあるそうです。

そして最近ではさらに厳しいことを知らせてきているのは、それはイシキの世界だけ！！！！かわかりませんが次のようなことです。

地球は宇宙の希望や願いを具現化する宇宙でただ一つの星で、その究極の理想の人間が、今の文明を築き上げたが限界に達したということで、アトランティスと同じく終わりになるということのようです。

それは宇宙の総意で、全てを分解することにもなるということでしたが、素晴らしい地球を唯の微粒子に戻してしまうのはあまりだ、という考えにもなってきたそうです。

それが繰り返し「ハシの地球になる」という言葉で、最初の地球と同じく四角になるということで、そこに行けるのは、原子が意識を持っているということを受け入れる人たちだけということです。

それがいつ行われるかは全くわかりませんし、今のまま続くかもしれませんが、今の考えのまま目先の欲にかられた暮らしをしていき、これまでにない異常な高温を無視することで、しっぺ返しをされるということも思っていた方が良いでしょう。

最後にソラから人間に伝えられたメッセージです。

【死後の世界は存在します。それはナラクの世界で、とても長いということです】

詳しくは以下の【地球の謎解き】のホームページで紹介しています。併せて当法人が作成しております「ソラからの情報」もご参照ください。

<https://sora.ishikami.jp>

地球温暖化は何を意味するのか？

なぜ地球が水の惑星で、生物が住んでいるのか？

なぜ巨石文明が突然あられ、消えていったのか？

なぜ生きているような石像などが無数にあるのか？

なぜ人間が生まれたのか？

意識を持っているのは人間だけなのか？

このようなあらゆる地球の謎の答えを解き明かしてくれるのが宇宙（ソラ）のモノたちです。

1



2



3



- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. ピンクの太陽          | : 酷暑の警告             |
| 2. アイルランドのストーンサークル | : ストーンサークルと人間の関係    |
| 3. 入母屋の意味          | : 星からの言葉を伝える真実の口を表す |

---

## 地球の危機と謎解き

2025年9月5日 初版第一刷発行

非売品

==Not for sale(Only for gift)==

---

制作：特定非営利活動法人地球の平和のための謎とき会

Producer:NPO NAZOTOKI FOR PEACE OF THE EARTH

発行所：特定非営利活動法人地球の平和のための謎とき会

Published:NPO NAZOTOKI FOR PEACE OF THE EARTH

Homepage : <https://nazotoki-npo.jp>

Email : [npo@nazotoki-npo.jp](mailto:npo@nazotoki-npo.jp)

---